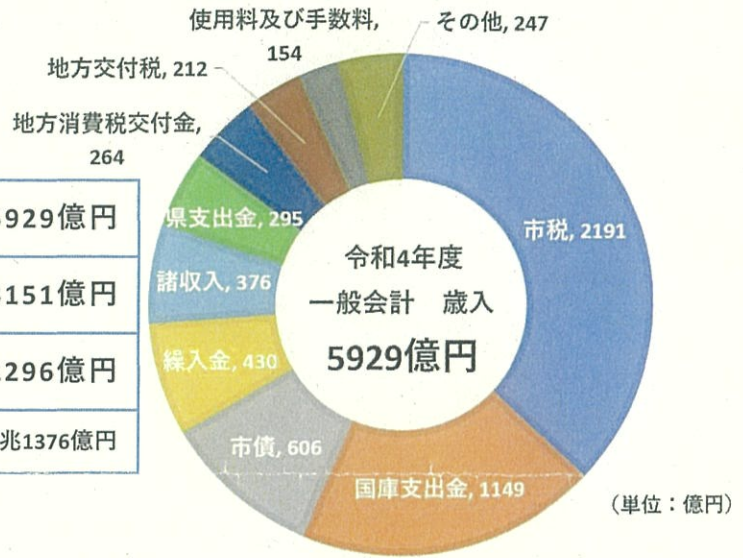


| | |
|------|----------|
| 一般会計 | 5929億円 |
| 特別会計 | 3151億円 |
| 企業会計 | 2296億円 |
| 合計 | 1兆1376億円 |



《概要》 「コロナ後の都市間競争に打ち勝ち、世界から選ばれる街へ」

【柱1】

- 世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり
- ☆仙台発のイノベーションにつなげる活力向上
 - 放射光施設・スーパーシティ構想を軸とした経済活性化
 - コロナ後を見据えた経済成長・地域産業の高度化
 - デジタルの力を用いたまちの活力向上
 - ☆仙台ならではの魅力や賑わいの創出
 - 交流人口拡大・文化芸術振興
 - エリアごとの個性を際立たせるまちづくり

【柱2】

- 多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり
- ☆女性・若者の活躍推進と困難を抱える方々への支援
 - 女性や若者などの活躍推進
 - 様々な困難を抱える方々への支援
 - ☆子育て応援まちづくり
 - 子育てを楽しめるまちづくり
 - 切れ目のない子育て支援
 - こどもの安全・安心の確保

《予算委員会質疑内容》

アドボケイト派遣について

＊アドボケイトとは子どもの意見表明権を確保するため子どもの声を代弁する役目の人である
本市は県と連携して令和4年度から児童福祉施設、児童相談所の一時的預かりへの派遣を開始します
【要旨】本市の中でも理解を深め、全ての子どもに必要と考えます。本市の取り組む姿勢の確認

【答弁】
県と共同で、アドボケイトと施設の調整役として取り組む

産後ケア事業について

【要旨】産後うつなどを未然に防ぎ、安心して子育てできるような支援であり、更なる拡充や体制構築を求める。助産師さんの協力で成り立っている事業であるため最大限の行政支援を求める

【答弁】
電子申請に加え2回目以降利用の直接施設への申込、事務の簡素化について検討する。来年度からは加算を導入するなど引続き安定利用について取り組む

新生児聴覚検査助成について

【要旨】1割の新生児が未検査である。検査の重要性を周知し、全ての新生児が検査出来るよう求めた

【答弁】
様々な冊子への掲載や母子手帳別冊に助成券を綴るなど周知に努めていく

プラスチック一括回収事業について

＊容器包装以外のプラスチック製品の一括回収をし、ごみの減量・リサイクルの循環を目指す

【要旨】ゴミ出しルールの徹底と減量に向けての周知方法の改善。身近なもの(擬木・車止め・ゴミ袋等)にリサイクルし、減量意識向上に努めるべき

【答弁】
周知に努める。様々検討して進める
消防団員報酬改定について

＊令和4年度より報酬が改訂されます(表参照)

【要旨】課税対象となるためマイナンバーの提出、取り扱い等、団員に周知徹底すること。負担が増える階級についても改定を求める

【答弁】
マイナンバーについては研修会等開催し取り扱い、管理を徹底する。課税対象になるなど改定についてはこれから丁寧に説明していく。団員の士気向上するように努めていく

| 階級 | 現行 | 改定 |
|---------|--------|--------|
| 団長～副分団長 | 改定なし | なし |
| 部長 | 37,000 | なし |
| 班長 | 35,000 | 37,000 |
| 団員 | 33,000 | 36,500 |
| 活動 | 3,700 | 4,200 |

【お問い合わせ先】 村岡貴子事務所
仙台市青葉区東照宮1-7-16
電話：725-7870 fax：725-0028
Mail：muraoka@takakomura.com

せんだい
自民党

Liberal Democratic Party of SENDAI

NEWSLETTER

せんだい自民党会報

日々の活動は
フェイスブックで
発信中!



発行: 仙台市議会 せんだい自民党
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1
TEL.022-214-8644 FAX.022-714-2320

令和4年 せんだい自民党活動方針

姿勢

自由民主党の綱領に基づき、市民と党の立場で市民の幸せと市政発展の実現に取り組んでまいります。

方針

- ・市民の安全と安心を第一に政策集団として市政の課題に取り組みます。
- ・特に地域力の向上、子育て世代等への支援、また経済の活性化を重視します。

取り組み方

- ・各世代・各分野の皆様と意見交換を行うとともに、現地調査によって実態・課題を把握します。
- ・国、県、関係市町村との連携・協力を促進します。
- ・市民の皆様正しい情報を発信します。



たむら まさる

田村 勝

宮城野区(1期)

さくち たかよし

菊地 崇良

若林区(3期)

ささき しん

佐々木 心

太白区(2期)

かおる

あとべ 薫

青葉区(4期)

むらおか

村岡たかこ

青葉区(1期)

さいとう のりお

斎藤 範夫

泉区(5期)

さとう まさあき

佐藤 正昭

若林区(8期)

現場主義! せんだい自民党 TOPICS

私たちの日々の活動の一部をご紹介します。

② 子育て支援の現場の実態と課題を把握!

特定非営利活動法人STORIA様が取り組む「孤立する家庭を防ぐためのアウトリーチ事業」の現場を訪問しました。これは、主にひとり親や困窮家庭からのメール等による相談へ親身に対応するとともに、高砂団地西区町内会や学生ボランティアの協力を得て、子どもたちを見守り育む居場所の提供を行うものです。



この事業の拡大を議会で提言したところ、令和4年度から各区で相談事業が行われることになりました。公的支援との相乗効果を期待します。

また、近年、市内各地で子供食堂が開設されています。今回は連坊コミュニティセンターで運営している主催者のお話を伺いました。地元企業から食材などの提供を受け、ここでも町内会と学生や一般ボランティアの協力でお弁当が作られていました。このような善意の皆様は私たち市民の宝です。しっかりと応援してまいります。



🤝 県との連携 ~第1弾~ 村井知事との意見交換

令和4年度の第1回定例会に先立ち、会派全員で宮城県知事を訪問しました。コロナ禍から県民市民を守る取り組みの強化と、事業者支援の充実を求めたほか、現在検討されている4病院の統合は、通院者の利便性と救急搬送時間が低下する懸念があることを伝えました。また、市が音楽ホールを青葉山交流広場に建設するため、県が宮城野区に移転を予定する新たな県民会館と競合する可能性や、移転後の中心市街地の活性化をどのようにするべきか、などについて熱い意見を交わしました。引き続き県と市の効果的な連携のため、分析と政策提言を行っていききたいと思います。



🤝 近隣自治体との連携 ~第1弾~ 山田市長/名取市との意見交換

名取市の山田市長とは、コロナ禍対応のほか、同市が進めている復興事業「かわまちてらす閣上」や「サイクルスポーツセンター」と仙台市沿岸部のにぎわい事業との回遊性、優れた音響の名取市文化会館の成功事例、そして、4病院統合についての考え方等について意見交換しました。

市長からは両市連携の積極的なご意見を頂戴しました。持続可能な仙台都市圏の構築に向けた取り組みが、今こそ求められています。



👁️ アクアイグニス仙台を視察

若林区藤塚で4月21日オープンの「アクアイグニス仙台(温泉と食の複合施設)」を視察しました。この施設は、復興事業として民間事業者からの公募・協力によって建設・運営されます。すでに開設した「JRフルーツパーク仙台あらはま」、「せんだい3.11メモリアル交流館」や「震災遺構・荒浜小学校」、名取市の復興事業、県による貞山運河の利活用などとあわせ、震災の伝承と水辺の新たな賑わいづくりを目指し、提言を重ねたいと思います。



👁️ 仙臺緑彩館を視察

青葉山公園の片倉小十郎邸跡地に「仙臺緑彩館(せんだいりょくさいかん)」の建設が進んでいます。仙台北大手門の建設を見据えた市民の憩いの場として、また、今後の観光交流の情報集積拠点として活用する予定です。なお、青葉山公園は令和5年度の全国都市緑化仙台フェアのメイン会場になることが決まっています。

